

学校だより

第13号

椎の木



令和4年9月26日発行

流山市立東部中学校
生徒数 554名

笑顔と頑張りの体育祭

9月15日に体育祭を開催しました。体育祭1週間前に全校が5色に別れ、決起集会を開き「みんなで力を合わせて頑張っていこう」という雰囲気が一気に高まりました。短い練習期間の中で、応援団や学級・学年のリーダーが一生懸命練習の企画・運営・改善を行い、自分たちの手で体育祭をつくりあげました。保護者の皆様等に参観していただく体育祭は3年ぶり。しかも以前の体育祭を知っている上級生も卒業してしまい、まさにゼロからのスタートだったと思いますが、生徒たち一人一人が本当に頑張ってくくりあげたと思います。環境整備には、ボランティアでお手伝いいただいたり、当日の応援場所のお願いなど、多くの協力のおかげですばらしい体育祭を行うことができた感謝しております。

また、準備期間で草取りや環境整備をやっている横を生徒が下校する際、「先生、ご苦労様です」とか、中には「ありがとうございます」などと声をかけてくれる生徒が何人もいました。何気ない一言のように思いますが、その一言をかけられる優しさや気遣いなど、改めてすばらしい生徒が多いなと実感しました。心地よく、温かい気持ちになりました。

体育祭の動画についても配信（限定配信）しております。ぜひご家庭でご覧下さい。

【体育祭応援団より】

<1組 白組団長 平井 利空>

私たち白組シスターは、応援賞と総合優勝を目指して頑張ってきましたが、それには一步及ばず、悔しい思いをしました。しかし、シスター全員で団結し、一丸となって一つの目標に向かってできて良かったです。この悔しさを糧に合唱祭では再び全員で頑張っていきたいです。この体育祭で僕は、今までの行事ではないくらい成長できました。これは皆さんのおかげです。ありがとうございました。

<1組 白組副団長 藤倉 晴>

今回行われた「例年通りの体育祭」は、私達3年生にとって最初で最後の体育祭となりました。応援団団長という立場に立ち感じたことは、一人だけが頑張ったとしても、みんなが違う方向を向いていたら、得られるものも得られなくなってしまうということです。はじめから全員が同じ方向を向き、全力を出すことなどあり得ることではないと思います。それでも暑く辛い練習を積み重ねるごとに一人、そしてもう一人と次々に同じ方向に向かって頑張る人が増え、やっと全員が一つになり、体育祭当日を迎えることができました。そして、その日々が私達にとって、賞以上に大きく大切なものを与えてくれました。

<2組 青組団長 石塚 光琉>

僕は、最初正直この体育祭で優勝、応援賞を取るの無理だと思っていました。みんな全然声も出ないし、応援合戦で決まっていなくてたくさんあって、変更点もあって半分諦めていました。ですが、みんな文句も言わず弱音も吐かずについてくれたおかげで応援賞をとることができました。応援団もちろん頑張ったけど、他のみんなも同じくらい頑張ってくれて、全員でとれた応援賞なので、みんなには感謝の気持ちしかありません。そして本当に良い体育祭にできて良かったです。

<2組 青組副団長 小倉 花奈>

私達の学年は、しっかりとした行事は、修学旅行と今回の体育祭しかやったことがありません。その分、今回の体育祭に込める思いは、どの学年よりも大きかったと思います。青組シスターは、最初まとまりが無く、声も小さく、正直トロフィーは一つももらえないかなと思っていました。しかし、日が経つにつれて、少しずつ希望が見えてきました。自信があまりない中迎えた本番では、今までのすべてを出し切ることができ、本当に良かったです。結果発表で青組が呼ばれた時は、本当に本当に嬉しかったです。後輩からも「青で良かったです!」「楽しすぎました!」とたくさん言ってもらえて、私も青組で良かったと思いました。今までで一番最高の体育祭でした。

＜3組 緑組団長 岩崎 雄弥＞

まずは、体育祭お疲れ様でした。どのシスターも誰一人手を抜かず競技に向かっていたところはスロウガンらしい体育祭になったと思います。成績発表で本気で喜ぶ人、本気で悔しがっている人がいたのが何よりの証拠だと思います。3年生も初めての体育祭でどうなるか不安でしたが、応援団中心に生徒自身でつくり、中学校生活最後に最高の体育祭ができたと思います。次の大行事である椎木祭が近々あるので、体育祭には負けない熱量で取り組んで、思い出をまた一つ作っていきましょう。

＜3組 緑組副団長 森川 優羽＞

コロナの影響で、行事が中止や延期になる中、本来に近い体育祭を開催することができて、とても嬉しかったです。私達3組シスターは、脱5位を目標に練習してきました。全体で合わせて練習できたのは、1週間という短時間にも関わらず、シスターのみんなが協力してくれたおかげで、色んな人からほめられる応援になりました。このような最高のメンバーのおかげで、準優勝をとることができたと思っています。ノリが良くて元気いっぱいの3組シスターが大好きです。3組シスター最高！青春をたくさん味わうことができました。3年生最後の行事、椎木祭も手を抜かずに頑張りたいと思います。

＜4組 黄組団長 東山 蒼空＞

今年は応援賞、優勝をとることができず、悔しい思いをしましたが、この体育祭で仲間と共に全力で戦う楽しさを感じることができました。暑い中、声をからしながら練習した日々は僕らにとって、最高の思い出になりました。ここまで楽しい心に残る体育祭ができたのはみんなのおかげです。

＜4組 黄組副団長 飛鳥 有佳里＞

私は、体育祭を通して大きな達成感を得ることができました。東部中の体育祭を知らない私達にとってシスターをまとめていくことは、とても不安でした。シスター練習も始まり、最初は想像以上に盛り上がり体育祭を楽しめるのか、とても不安でした。その中で先陣を切って協力してくれたのは3年生で、3年生の波に乗り、2年生、1年生と本番ぎりぎりでしたが、やっとシスターとしての形ができあがったと思います。本番当日、演技中はもちろんのこと、演技後のみんなのやりきった表情や笑顔を見たとき、私自身すごく嬉しかったですし、とてもやりがいを感じました。最後までやり遂げることができたのは黄色組シスターの協力があったからこそだったと思います。本当にありがとうございました。

＜5組 赤組団長 窪田 敦矢＞

皆さん、体育祭を楽しめましたか？私はそれぞれのシスターが団結し、みんなで笑い、みんなで泣き、みんなで熱くなれたと思います。3年ぶりの本格的な体育祭。誰もが知らない流東の伝統。ですが、新しい伝統をみんなでつくり出すことができたのではないのでしょうか。我々でつくりあげた新しい伝統を次の世代へ受け継いでほしいと思います。シスターの団結はもちろん、シスターをこえての団結を見ることができました。私は赤組団長をしてきて、本当に良かったと思います。

＜5組 赤組副団長 大久保 海葵＞

私達3年生は東部中学校の本当の体育祭を体験したことがなく、クラスやシスターを引っ張っていくことに不安がありました。しかし、一緒に盛り上げてくれた友達や同じ気持ちを持って頑張ってくれた応援団のおかげで、最高の体育祭をつくり上げることができました。体育祭を開催することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。様々な制限がある中での体育祭になりましたが、思いっきり全員で楽しめて良かったです。そして、クラスをこえ、学年、シスターと団結し、お互いを高めあえて良い思い出となりました。来年は、今の2年生が新しい東部中の伝統を引き継いでほしいです。

文化活動の頑張り紹介

○NHK杯全国中学校放送コンテスト千葉県大会

朗読部門 優良賞 森川 優羽さん 廣瀬 隼さん
アナウンス部門 優秀賞 梶 煌人君

○市内科学作品展

科学論文の部 銀賞 橋場 真優さん 坂梨 真唯さん

～～お知らせ～～

年度当初10月8日（土）に予定していた地域合同防災訓練は、11月11日（金）の午後に、生徒の学習の一環として行うこととしました。地域の方々が一堂に会しての訓練は行いませんのでご了承ください。どうぞよろしくお願いいたします。